

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [民主的共同社会システム](#) | [哲学的基礎と自由について](#) ③
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

民主的共同社会システム 哲学的基礎と自由について ③

2. 個人の自由について

民主的共同社会システム（Democratic Socialism）の理論は「個人の自由」を大切にします。それは、自由をなくすと社会の発展等ものごとの進歩がなくなるからです。

前述した批判的合理主義の考え方は、批判精神と合理主義精神にあります。自由こそこの批判精神をもつための基本だからです。

あらゆる権威や理論に対しても自分の良心と意思によって批判的に捉えていくからこそ進歩があるのです。

今ある理論に対しても問題が起きたなら、反対の事実をもってその理論に反証・反駁・批判を与え、新しい考え方を提案してそれを絶対化せず批判の眼にさらして新しい理論が出たらそれに従っていく。そのような開かれた理論が「民主的共同社会システム」の考え方です。

独善的な理論は、自分のたちの理論が正しいと思われる事象だけ集めてきて、「我々の理論はこのように実証された」と言い張ります。自分たちの理屈にあった事象などこの世の中ですらでもありません。大切なことは自分たちの理論が実証されたということではなく、反証されなかったということです。

また、私たちが言う自由とは、自分勝手に主張したり何かをなすことではなく、「理性の自由」であり、「個人の人格を尊重する」という意味での自由です。

人間の社会に完全な社会や制度はありません。様々な問題や不合理なもの、不正義なことも存在しています。それらの問題に対して自分の意思で、積極的に主張し、行動していく心の自由とそのような精神を保障する制度を大切にします。

また、「風の糸」のように、自分の義務を果たしたとき本当の自由が求められるものであります。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 📄 このサイトについて 📄 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.